

# 板野町 人口ビジョン・第二期総合戦略（概要版）

## いたの再興《最高》新南海道戦略

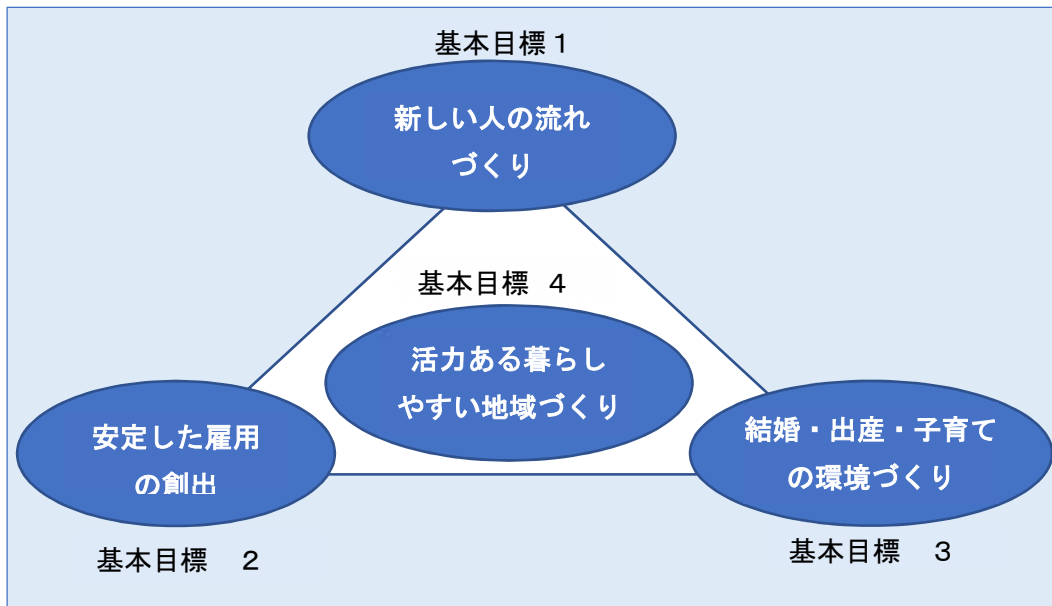
### ○現状分析

- ◆人口は、2000年(平成12)をピークに人口減少に転じています。
- ◆2019年(令和元年)における人口は、13,299人、高齢化率は32.5%となっています。

### ○将来目標

- ◆「第五次板野町振興計画 後期基本計画」に基づき、人口ビジョンやこれまでの施策を踏まえ、2024年(令和6年)の目標人口を「13,000人」と設定しました。

### ○総合戦略の4つの基本目標



### 基本目標 1 新しい人の流れづくり

2025年までに、社会増2020年比50%増、2030年以降転入超過

観光・交流の拡大

UIJターンの促進

関係人口の創出

### 基本目標 2 安定した雇用の創出

総合戦略による雇用創出数 5年間で100人

基幹産業の農業就業環境の充実

産業連携による付加価値の増強と雇用力の強化

新たな雇用の場づくり

### 基本目標 3 結婚・出産・子育ての環境づくり

2024年度までに、合計特殊出生率1.50以上

出生率の向上

子育てに対する切れ目ない支援による若者世帯の定住促進

若者人口の定住・増加対策

### 基本目標 4 活力ある暮らしやすい地域づくり

今後も住み続けたいと思う住民の割合 80%以上

誰もが暮らしやすい環境づくり

地域マネジメント体制づくり

SDGsの実現

# 人口ビジョン

## ○現状分析

### ◆人口減少期

- ・2000年に14,637人に達して以降、減少傾向で推移しています。
- ・年齢3区分別(老年人口、生産年齢人口、年少人口)の比率についてみると、「老年人口」が拡大していることが分かります。

### ◆このままの推移

- ・2060年において「5,762人」に減少することが予想されます。
- ・人口減少は社会保障制度の維持や、持続的な地域経営維持の面から問題となります。

## ○人口の将来展望

### ①目指すべき将来の方向

- (ア)田園都市としての定住性を強化する**:農地や山林の等の緑の環境に包まれ、県都との近接性、交通の利便性等を活かした“住のまち”としての環境整備を目指す。
- (イ)新たな雇用と交流による活力を創造する**:基幹産業である農業の強化とともに新たなビジネスの創出や観光・交流も含めた六次産業化を図り、まちの活力の増強を目指す。
- (ウ)若者世代が住みよいまちをつくる**:結婚・出産・子育ての支援体制が充実し、若い人たちが、夢や希望を持って暮し、働くことができるまちづくりを目指す。
- (エ)人口減少抑制に向けた地域ぐるみ体制を創る**:住民も含めた官民協働による取り組み体制を構築し、それぞれの役割分担のもと、実効性ある取り組みを目指す。

### ②人口の将来展望

出生率を高め、転出入の均衡、さらには転入超とすることを目指し 2060年に10,000人程度を確保する。

自然動態：合計特殊出生率の上昇 2055年：2.07へ

社会動態：転出超過を解消 2025年以降転入超過

趨勢人口:国立社会保障・人口問題研究所に準拠し補正した趨勢人口

シナリオ1：移動については趨勢人口と同様で、合計特殊出生率のみが上昇することを想定したシナリオ

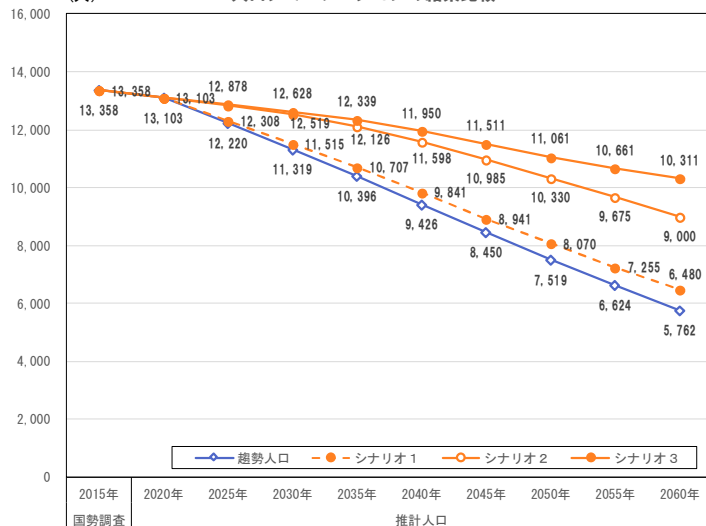
シナリオ2：合計特殊出生率がシナリオ1同様上昇し、移動は近年の社会増傾向が今後も安定的に続く結果として、

趨勢人口で補正・仮定した2020年の純定住率が2025年以降の維持されることを想定したシナリオ

シナリオ3合計特殊出生率がシナリオ1、シナリオ2同様に上昇するとともに、移動については、趨勢人口で補正・

仮定した2020年の純定住率をベースに、0～39歳については5年毎に1%ずつ上昇、40歳以降についてはシナリオ2同様に2020年の純定住率が維持されることを想定したシナリオ

(人) 人口シミュレーションの結果比較



## 第二期総合戦略の重点的な推進テーマ

第二期総合戦略にあたって、特に次の施策を重点テーマとして推進していきます

★「徳島版地方創生特区」への取組(新南海道再興戦略特区)

- ① 水素ステーションなど未来志向型「道の駅」の整備（令和3年4月開業）
  - ② 「光の道」と「歴史」が融合した「サテライトオフィス」等の誘致促進
  - ③ 新たな消費者行政・教育のモデルとなる先進的・実証的な取組みの推進
- ★子育て支援の充実

★「徳島版地方創生特区第1号」認定を受けての取組

徳島ならではの地域資源を活用し、企業や地域住民など多様な主体との連携のもと、地域経済の活性化や雇用創出・移住の促進など、市町村が地域課題の解決や持続可能なまちづくりを実現するモデルとなる先導的な事業を、徳島県と連携し強力に取り組むこととします。

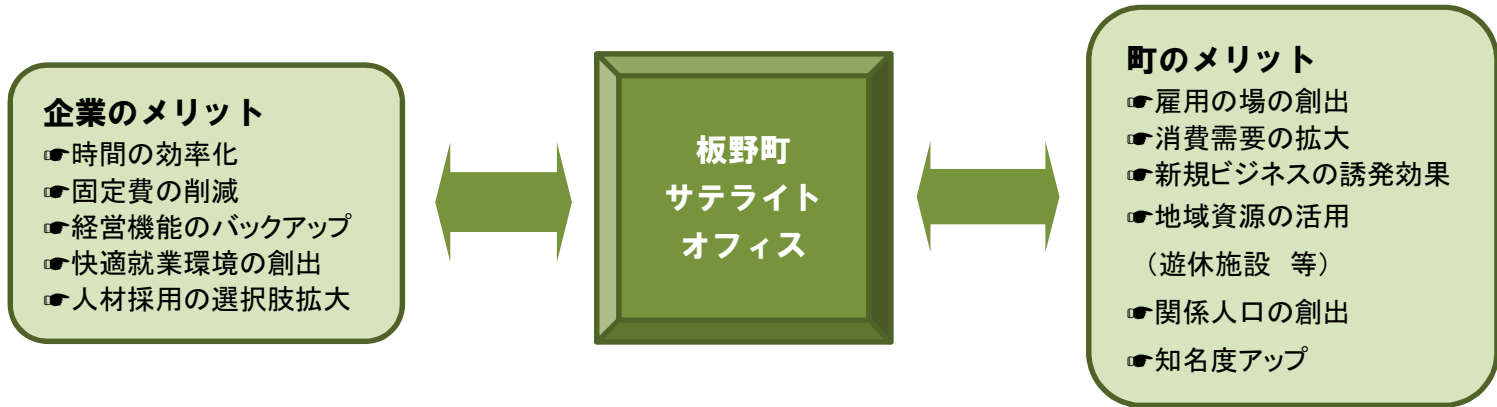
### ① 水素ステーションなど未来志向型「道の駅」の整備（令和3年4月開業）

狙い	<p>板野町が活性化していくプロセスには、「道」というスキームは重要であり、新しいコンセプトの「道の駅」を整備します。板野町の交通条件の利点や、大きな集客力を有している観光レクリエーション施設の立地、さらには今後の利用が見込まれる“お遍路さん”等の条件を活かします。</p> <p>町の総合的な販売・PR、住民の安心拠点としての機能に加え、水素ステーションなどを整備し、未来の交通体系を先取りする『道の駅』を整備します。</p>
展開の考え方	<p>まずは、板野町の基幹産業である農業を強化し就農環境を充実するとともに、その生産物（素材）を活かした六次産業化を推進し“板野ブランド”づくりと、町内の産業の付加価値の拡大に努めます。その延長線上に、町の各種物産の販売・PR拠点、観光の各種情報発信します。</p> <p>また、災害時の町民及び広域的な防災拠点としての機能も持たせます。そして、最先端技術を活用した水素ステーションなどを整備し、板野町から未来の交通体系のあり方の情報発信を併せ持った「道の駅」を整備します。</p> <div data-bbox="604 1133 1870 1364" style="text-align: center;"> <pre> graph LR     A[基幹産業である農業の強化 六次産業化等産業連携の促進] --&gt; B[観光・交流による人の流れの促進]     B --&gt; C[道の駅の整備]     D[住民の交流や安心な暮らしづくり] --&gt; C     C --&gt; B     </pre> </div>

② 「光の道」と「歴史」が融合した「サテライトオフィス」等の誘致促進

狙い 町内に張り巡らせている「光の道」（光ファイバー網）を活用し、板野町ならではの歴史と文化を活かし、サテライトオフィス等の積極的な誘致を図ることにより、新たな雇用やビジネスチャンス、関係人口の創出を図ります。

展開の考え方 徳島県のサテライトオフィス・プロモーションとの連携を図るとともに、板野町の優位性を積極的にPRし誘致活動に努めます。  
一方、オフィスの場としては、例えば空き家や公的施設等の遊休施設を活用し、これらの情報発信も併せて図り、町の新たな活力源としていきます。



古代の官道・南海道  
都から四国の国府への重要拠点

未来型・道の駅  
最先端技術活用  
水素ステーション

サテライトオフィス  
光の道活用  
IT企業など情報通信産業集積



### ③ 新たな消費者行政・教育のモデルとなる先進的・実証的な取り組みの推進

#### ※新南海道再興戦略特区の拡充

**狙い** 悪質かつ新たな手法による詐欺被害等から消費者を守るため、さらなる活動の強化や 時代に即した様々な対応が必要であることから、消費者行政の発展・創造に向けた実証 やエシカル人材をはじめとする消費者教育の推進を図ります。また、特区認定を受けることで徳島県の協力や支援・効果的な手法の発見・早期の消費者行政の浸透（幅広い宣伝効果）が得られるほか、行政だけでなく地域と一緒に取り組むよう住民参加の地域運営の仕組みを構築し、活力ある暮らしやすい地域づくり、SDGs の実現に向けた取り組みにつながることを期待できます。

#### 展開の考え方

##### 【各取り組みの展開】

##### (1) 要見守りリストの作成

- 消費者被害に遭いやすい高齢者などを事前に把握
- 消費者被害防止のための地域見守り活動などに利用

##### (2) 消費者被害防止のための地域見守り活動及び啓発活動等の強化

- 町民に身近な者と訪問し、見守り活動がより地域に密着
- 詐欺などの消費者被害減少

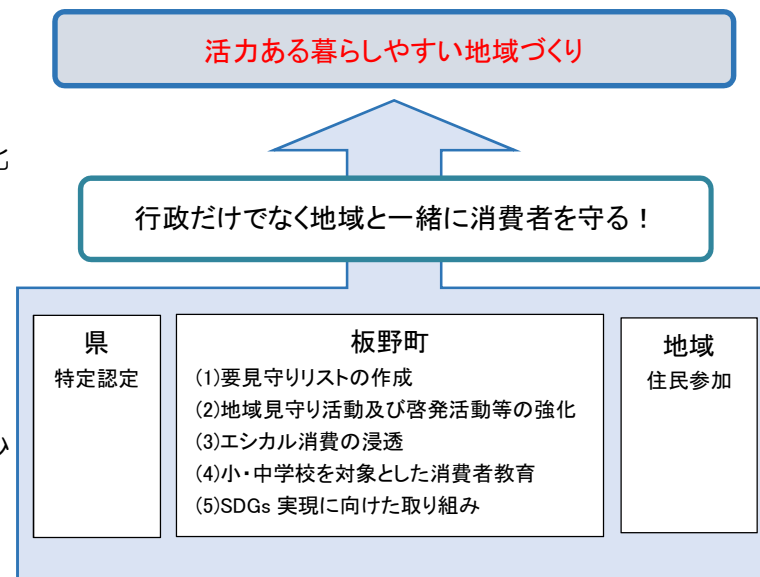
##### (3) エシカル消費の浸透

- 出前講座などでエシカル消費をテーマとした講座の開催
- 全国に先駆けてエシカルな消費行動をする消費者増加
- 悪質商法を行う事業者から商品を買わないことで、消費者被害減少

##### (4) 小・中学校を対象とした消費者教育

- 義務教育の段階から消費者教育を行う
- インターネットトラブルなどの未然防止につながる消費者育成

SDGs は、「Sustainable Development Goals」の略称で、2015年(平成27年)9月の国連サミットで採択された国際目標です。本町でもSDGsの理念に基づき、多様性を活かし、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを行います。



## 子育て支援の推進

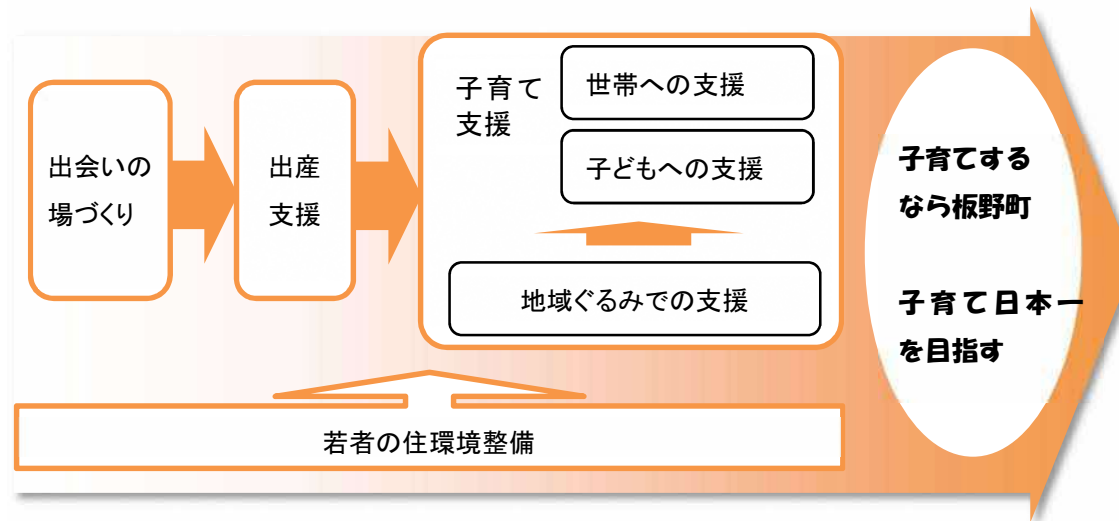
狙い

次の時代の板野町を担うのは子どもたちです。子どもを育成するための支援環境を充実し、“子育てするなら板野町”と思われ  
るまちづくりを推進し、それが若い世代の定住・流入となり、人口減少の抑制にも効果を持つこととなります。

展開の考え方

出会い⇒結婚⇒出産⇒子育て（保育・教育を含め）という一連のライフステージに対し、切れ目のないトータルな支援体制の  
充実を推進します。

支援体制の中で、特に就学前教育の完全無償化を目指し、平成 28 年 4 月から町立幼稚園の授業料無償化、同年 10 月から町  
立保育園の保育料の無償化、また、令和元年 10 月から、町立幼稚園及び町立保育園の給食費無償化を実施しています。  
医療費(保険対象)の窓口負担についても、中学修了までは無料、18 才の年度末までは、1レセプト 600 円以外は無料としてい  
ます。



# 具体的な施策の展開

## 基本目標 1 新しい人の流れづくり

観光・交流の拡大による人の流れを促進し、U・I・Jターン策による新たな定住の流れを創りだす。

### 観光・交流の拡大

注)「太字ゴシック」は重点施策

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
1. 観光魅力の強化による交流拡充	○町内滞留人口	年 113.2 万人
2. 観光と他産業・他部門等との連携強化	○板野町観光推進協議会開催回数	計 5 回
<b>3. 道の駅整備による拠点形成</b>	○産業振興・観光・防災・地域福祉の総合拠点施設形成による買い物客数	年 31.2 万人
	○地域振興施設（産地直売所・加工施設・農家レストラン・軽飲食施設等）の売上げ（想定カウント方法）売上額をそのまま計上する	年 4 億円
	○地域振興施設（産地直売所・加工施設・農家レストラン・軽飲食施設等）利用者による交流人口の増加数 （想定カウント方法）町内客と町外客の区別ができるポイントカード配布	年 7 万 8 千人
	○地域振興施設利用者によるあせび温泉利用者数（想定カウント方法）地域振興施設での買い物を証明するレシートをあせび温泉に持参した方に、温泉利用料を割り引くなどの特典を得た人数	年 7 千 8 百人
<b>4. 交流を促す情報等基盤環境の整備及び積極的な情報発信</b>	○町PR動画作成によるホームページアクセス数	年 1,000 件



三番札所 金泉寺



四番札所 大日寺



五番札所 地藏寺

### UIJターンの促進

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
5. 情報発信機能の強化	○「帰って来んでPR動画」ホームページアクセス数	年 1,000 件
<b>6. 町出身者学生のUターン促進</b>	○町独自の奨学金制度における定住を理由とした返還免除数	計 15 人
7. 里帰りの促進	○「里帰り」孫世代夏季学級体験者数	計 5 人
<b>8. 移住の受け入れ環境の整備</b>	○子育て世代（転入者対象）住宅整備数	計 1 棟

## 基本目標 2 安定した雇用の創出

基幹産業である農業の就業環境の充実とともに、産業間連携や本町の立地条件を活かした新たなビジネスを興し、雇用力の強化を図る。

### 基幹産業の農業就業環境の充実

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
9. 農業力の強化による雇用力の増強	○農業法人数	計 8 法人
10. 農業後継者対策の充実	○農業後継者数	計 70 人
11. 新規就農者の受け入れ体制の充実	○新規就農者数	計 10 人

### 産業連携による付加価値の増強と雇用力の強化

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
12. 六次産業化への取組	○地元企業の特産品開発数	計 2 種類以上
13. 地産地消の推進	○商品開発企業連携数	計 2 業者以上
	○学校給食センター食材地元業者購入	計 13 店
	○健康食開発・地産地消レストランメニュー開発種類数	計 10 種類以上
	○介護保険認定率	年 21%未満

### 新たな雇用の場づくり

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
14. 企業誘致の促進	○サテライトオフィス・コールセンター等情報関連産業誘致社数	計 1 社
	○民間活力を利用した企業立地件数	計 2 社
15. 立地条件を活かした新たなビジネス展開	○ICTまちづくり推進事業協力機関数	計 1 社



にんじんソーマン



にんじんドレッシング



つけもの侍：いたのすけ



基本目標3 結婚・出産・子育ての環境づくり

子育て日本一を目指し、出会い・結婚・出産・子育てのトータルな支援体制を充実する。

出生率の向上

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
16. 婚活支援	○30歳未満婚姻者数	年 50人
17. 出産支援体制の充実	○出生数	年 100人



子育て支援・ボランティア

子育てに対する切れ目ない支援による若者世帯の定住促進

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
18. 子育てに対する経済的支援の充実	○子育て世代転出数	年 30人
	○子育て世代転入数	年 50人
19. 就学前幼児教育の充実	○子育て世代転出数	年 30人
	○子育て世代転入数	年 50人
20. 子育てに対する地域ぐるみでの支援体制の充実	○幼稚園預かり保育児童数	年 85人
	○保育園入所者数と地域子育て支援センター利用者の内給食利用者数	年 252食
	○未就学児童の増加者数	年 53人
	○未就学児童世帯員の増加者数	年 128人
21. 特色ある教育環境の充実	○町独自の奨学金制度における定住を理由とした返還免除数<再掲>	計 15人



子育て支援・育児相



徳島スポーツビレッジ

若者人口の定住・増加対策

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
22. 若者専用住宅整備	○子育て世代(転入者対象)住宅整備数<再掲>	計 1棟
23. 特定健診受診率	○特定健診受診率	年 42%
24. 子ども家庭総合支援拠点の整備	○子ども家庭総合支援拠点を令和4年度までの設置:相談件数	計 200件

## 基本目標 4 活力ある暮らしやすい地域づくり

住民みんなの支え合いや交流による暮らしやすい環境づくりと、地方創生にふさわしい住民参加の地域運営の仕組みを構築する。

### 誰もが暮らしやすい環境づくり

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
25. 多世代交流の促進	○多世代交流サロン箇所数	計2ヵ所
	○徳島型CCRC構築への取組回数	計1回
<b>26. 消費喚起の拡充</b>	○プレミアム商品券利用枚数	年36,000枚
	○タクシー助成券利用枚数	年10,000枚
27. 生活支援策の充実	○各機関・くらしサポートセンターの連携機関数	計2ヵ所



町PRマスコット「まめっちゃん」

### 地域マネジメント体制づくり

具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	目標 (R6年)
28. シルバーパワーの活用	○「(仮称) まちづくり協力隊」会員数	計10人
29. 住民参加による実行部隊の形成	○「板野町総合戦略評価委員会」の開催回数	計5回
	○「(仮称) 板野ふるさと会」の参加者数	計50人
<b>30. 消費者被害防止やエシカル消費の浸透</b>	○「要見守りリスト」に基づく訪問数	計100%
	○「消費者被害防止のための地域見守り活動及び啓発活動等の強化」見守り訪問件数	計1,500件
	○「エシカル消費の浸透」認知度	計6割
	○「小・中学校を対象とした消費者教育」授業実施	計9学年
31. 空き家除去の推進	○空き家除去数	計10件
32. 木造住宅耐震診断実施促進	○耐震診断の実施回数	計100件
	○補強計画の作成数	計100件
33. ネーミングライツ制度の導入	○ネーミングライツ制度導入施設数	計6件
34. 福祉施設のバリアフリー化	○バリアフリー化された福祉施設数	計5件
35. 福祉施設の耐震化	○耐震化された福祉施設数	計5件